（別紙３）

公表　事業所における自己評価総括表

○事業所名	らいおんハートからだの児童デイサービス			
○保護者評価実施期間	2026年2月1日	～	2026年5月10日	
○保護者評価有効回答数	（対象者数）	21（児童発達支援・放課後等デイサービス含む）	（回答者数）	7（児童発達支援・放課後等デイサービス含む）
○従業者評価実施期間	2026年2月1日	～	2026年5月10日	
○従業者評価有効回答数	（対象者数）	4	（回答者数）	4
○事業者向け自己評価表作成日	2026年5月10日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個別療育、集団療育を組み合わせ、活動内容が固定化されないようにしている	毎月ごとに療育計画を作成し、季節やイベントを取り入れている。また、児童に合わせたコミュニケーションツールを用いている。	スタッフ間での療育内容を周知し、個々に合った対応を行っていく。
2	保護者から発信される情報を細かく、共有している。	スタッフ間での共有を徹底し、保護者との連携・情報共有をしている。	保護者だけでなく、支援に必要な関係機関との連携を図っていくことで、より良い支援を行えるようになる。
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域との交流機会が少ない	地域との連携を図るための情報が不足していた。	児童館や、児童クラブといった地域イベントの情報収集を行っていく。
2	人員配置上の人員は満たしているが、より良い支援を行っていく上でのスタッフが少ない	利用者が固定での利用日以外で、利用したい時間を確保することが難しく、スタッフを増やしてほしいという意見がある。	福祉に興味を持ってもらうために、イベントや、職場体験などを企画し、実行していく。
3			